

あますいビジョン実施計画(前期)進捗管理一覧表 R3年度決算

凡例 ○:「ビジョン目標を達成」 ●:「計画に沿って進捗している」 ●:「課題、調整事項はあるが、概ね計画に沿って進捗している」 △:「課題、調整事項があり、予定より遅れている」

取組み名称 及び ビジョン目標		進捗状況	R3年度取組み状況									
直近の取組み内容、具体目標や目標値など												
① 水道事業の施設のあり方			主管課：水道計画担当 関係課：浄水センター、経営企画課									
概要: 40年先を見据え、将来の投資や維持管理費用の縮減を図りつつ、神崎浄水場の配水機能の維持に必要な中央管理棟の改築や配水ポンプ棟の耐震化に取り組む。												
よりきめ細かな設備の保全		○	・水道施設台帳及び施設図面の作成完了。									
<ul style="list-style-type: none"> 設備台帳の運用 更新等による設備台帳の変更 柴島取水塔の歩廊の耐震補強 												
神崎浄水場の配水場化時期の決定		●	・阪神水道企業団(以下、「阪水」という)の受水費削減が優先事項であることを整理し、局内の認識統一を図った。									
<ul style="list-style-type: none"> 水道システム全体の供給信頼度向上推移の可視化による見直し時期 												
神崎浄水場の配水機能の維持に必要な施設整備		●	・神崎再構築基本計画策定支援業務委託を発注(PPP/PFI導入可能性調査はR6年度に実施予定)									
<ul style="list-style-type: none"> 基本計画策定業務委託においてPPP/PFI導入可能性調査を実施 尼崎浄水場内での送水管接続箇所の検討及び協議 												
② 工業用水道事業の施設のあり方			主管課：水道計画担当 関係課：浄水センター、経営企画課									
概要: 50年以上経過している施設が大半となっており、ユーザー企業の使用廃止に伴う給水収益の減少が続いている状況である。他事業体と連携した施設のあり方の検討などを行い、工業用水の安定した供給の継続を目指す。												
よりきめ細かな設備の保全		○	・設備台帳は完成(施設図面等をR4年9月末までに揃える)。取替等を実施した機器について設備台帳を変更した。									
<ul style="list-style-type: none"> 設備台帳の運用・更新等による変更 												
広域的な施設のあり方の検討		●	・施設の利用形態について、「大道～猪名川系」に集約する方向で検討中。									
<ul style="list-style-type: none"> 阪水猪名川浄水場の余剰施設活用に向けた検討 			・業務範囲について、取導水・浄水・送配水にかかる業務は、「阪水へ委託」する方向で検討中。									
自己単独施設の計画的な更新・維持管理		●	・R3年度に予定していた工事(園田配水場集中監視制御設備更新工事など)は計画通り完了した。江口取水場受変電設備等設計業務についても、年度末に完了。									
③ 管路の計画的更新と維持管理			主管課：水道建設課 関係課：水道計画担当、浄水センター、水道維持担当、お客さまサービス課、経営企画課									
概要: 重要度・老朽度・耐震性の3つの観点から更新優先度を設定し、更新基準年数を基に更新規模の平準化を図るとともに、水需要の減少や地域バランスの変化を考慮した口径の見直しを行い、適切な更新を行う。 工業用水道の配水管についても水道と同様に重要度・老朽度・耐震性の3つの観点から更新優先度を設定し、更新基準年数を基に更新規模の平準化を図るとともに、強度が低い材質の配水管を優先して更新していく。												
水道事業 本管更新		●	年度	R2(2020) 1,695m[554m]	R3(2021)1,601m[1,696m]	R4 (2022) 1,383m	R5 (2023) 823m	R6(2024)1,341m				
<ul style="list-style-type: none"> 10年間で約100kmの配水管(本管)を更新 10号配水本管の更新(本市において最も口径の大きい配水管) 			前期計画	1,695 / 6,843 25%	3,296 / 6,843 48%	4,679 / 6,843 68%	5,502 / 6,843 80%	6,843 / 6,843 100%				
			前期実績	554 / 6,843 8%	2,250 / 6,843 33%							
・R3年度計画進捗率48%に対し進捗率は33%であるが、繰越を含めると目標は達成している。												
水道事業 支管更新		●	年度	R2(2020) 10,574m[8,258m]	R3(2021) 9,786m[2,152m]	R4(2022) 10,120m	R5(2023)10,120m	R6(2024) 10,120m				
<ul style="list-style-type: none"> 10年間で約100kmの配水管(支管)を更新 			前期計画	10,574 / 50,720 21%	20,360 / 50,720 40%	30,480 / 50,720 60%	40,600 / 50,720 80%	50,720 / 50,720 100%				
			前期実績	8,258 / 50,720 16%	10,410 / 50,720 21%							
・R3年度計画進捗率40%に対し進捗率は21%であるが、繰越を含めると目標は達成している。												
工業用水道事業 配水管更新		●	年度	R2 (2020) 600m	R3 (2021) 800m[474m]	R4 (2022) 250m	R5 (2023) 500m	R6 (2024) 400m				
<ul style="list-style-type: none"> 10年間で約6kmの配水管を更新 ※新設を含み改良事業を除く 			前期計画	600 / 2,550 24%	1,400 / 2,550 55%	1,650 / 2,550 65%	2,150 / 2,550 84%	2,550 / 2,550 100%				
			前期実績	0 / 2,550 0%	474 / 2,550 19%							
・R3年度計画進捗率55%に対し進捗率は19%であるが、ビジョンの最終年度であるR11までには完了させる予定。												
維持管理点検計画に基づく管路点検		○	<ul style="list-style-type: none"> 配水管や水管橋、空気弁などの管路点検を実施した。(全体予定数量1,183件に対して1,230件) 管路施設管理システムの予算要求。 ドローンによる水管橋調査の実施。 									
<ul style="list-style-type: none"> 管路点検を実施 管路施設管理システムの構築 												

あますいビジョン実施計画(前期)進捗管理一覧表 R3年度決算

凡例 ○:「ビジョン目標を達成」 ●:「計画に沿って進捗している」 ●:「課題、調整事項はあるが、概ね計画に沿って進捗している」 △:「課題、調整事項があり、予定より遅れている」

取組み名称 及び ビジョン目標	進捗状況	R3年度取組み状況					
直近の取組み内容、具体目標や目標値など							
④ 配水ブロック化		主管課：水道建設課 関係課：水道計画担当、浄水センター、水道維持担当、お客さまサービス課、経営企画課					
概要:市内を20のブロックに分割する配水ブロック化を行うことにより、災害時の断水範囲の局所化及び迅速な断水解消に効果を発揮する。また、市内20ブロックのうち、標高が比較的高く阪神淡路大震災の際に断水解消が最後となった北西部地域については、早期のブロック化に取り組む。							
北西部地域(野間系統)ブロック化	●	・電気部品の不足により制御盤の製作が不能となり工期延長となったが、R4年度に工事完了予定である。					
・野間ブロック化流量制御装置工事							
大ブロック化	○	・D3エリアのブロック化が完了した。					
・市内を20エリアにブロック化(R7完成予定)							
・前期は16ブロックを構築							
		年度	R2 (2020) 37ブロック	R3 (2021) 17ブロック	R4 (2022) 37ブロック	R5 (2023) 37ブロック	R6 (2024) 37ブロック
		全体計画	6 / 20 30%	7 / 20 35%	10 / 20 50%	13 / 20 65%	16 / 20 80%
		全体実績	6 / 20 30%	7 / 20 35%			
小ブロック化	●	・検討部会を5回実施し、検討部会において主要支管を選定して本管分岐を選別する実施手順の改良や他事業体調査による市内配水管理の検討を実施した。					
・検討部会において実施手順の検証や市内配水管理の検討を行い、実施方針を策定							
水圧監視機器の整備	●	・水圧計設置にかかる考え方の整理を関係課と協議中。					
・水圧計設置にかかる考え方の整理							
⑤ 配水バランスの変更		主管課：浄水センター 関係課：水道計画担当、水道建設課、水道維持担当、お客さまサービス課、経営企画課					
概要:本市の配水は猪名川浄水場に機能が集中しているという課題がある。北西部地域を配水ブロック化することで各浄水場等からのポンプの圧力を変更し、尼崎浄水場から配水しているエリアを広げ、猪名川浄水場への機能集中の改善を目指す。							
配水圧の調整	●	・一時間当たりの配水量について、猪名川浄水場を6,000㎥から5,000㎥に、尼崎浄水場を2,000～2,500㎥から3,000㎥となるように配水圧を設定変更した。					
・ピーク時間における猪名浄、尼崎浄水場の配水割合の変更							
阪水の配水ポンプ能力の調整	○	・【尼崎浄水場】阪水にて配水ポンプ配置基本設計を実施。					
・猪名川浄水場及び尼崎浄水場のポンプ能力の調整に係る阪水との協議		・【猪名川浄水場】阪水において6号配水ポンプの更新設計を実施。					
⑥ 水源水質の保全		主管課：浄水センター					
概要:淀川の水質は改善傾向にある一方で、水質事故は依然として発生しており、引き続き、これらの水質事故に対応していく必要がある。そのため、淀川から取水する水道事業体と連携して、水源水質の保全に取り組んでいき、早期の水源の異常を発見し、対応する。							
連携した水源水質の保全	○	・淀川水質協議会(7回)、淀川水質汚濁連絡協議会(5回)に計12回参加した。					
・各協議会への継続的参加		・合同での水質分析はコロナの影響で採水だけを行い、合同分析は行わなかった。					
・他事業体と連携した水源調査の実施や関係機関への要望							
⑦ 水質管理の徹底		主管課：浄水センター 関係課：水道計画担当					
概要:今後も安全な水をお届けするために適切な水質管理を行っていくとともに、市内配水量の8割以上を占める阪神水道企業団との連携を行うことで、さらなる水質管理の徹底を目指す。							
市内水質自動監視装置の配置の見直し	○	・R2年度に更新が完了した1か所を含め、R3は4か所の更新を行い、市内計5か所の更新が完了した。					
・水質自動監視装置の更新に合わせて配置を見直す							
水安全計画の継続的な運用	○	・水安全計画推進委員会において、配水管布設工事による広範囲の赤水発生などの事象に関するマニュアル案を作成した。					
・水安全計画推進委員会で毎年改善、見直しを実施		・水道GLPサーベイランス(2年毎の中間審査)審査を受審。					
・水道GLPの運用							
阪神水道企業団及び構成市間での水質データの共有	○	・各自治体の水質データをウェブ上のエクセルファイルでの共有化を試行。メール等よりもリアルタイムで入力可能であるが、セキュリティの関係でアクセス困難な自治体もある。					
・水質データの共有化を推進させる							
⑧ 直結給水の推奨と貯水槽水道の適正管理		主管課：水道維持担当 関係課：お客さまサービス課					
概要:衛生管理の促進のため、管理義務が定められていない小規模貯水槽水道の管理状況の現地確認を行う。現地確認の結果では、改善が必要な施設があるとともに、管理状況が未確認な施設もあることから、引き続き適正管理の啓発や情報提供等を行う。また、直結給水への推奨や、貯水槽内への長時間滞留のため残留塩素不足が懸念される施設への情報提供も行うことで、じゃ口から出る水道水の安全の確保を目指す。							
貯水槽水道から直結給水への切替推奨	○	・R3年度は1,368件へ通知し、累計の通知済み件数は3,265件となり、予定どおりR3年度に完了した。					
・R3(2021)年度までにすべての施設(約3,400件)へ通知		年度	R2 (2020)	R3 (2021)	R4(2022)	R5(2023)～	
・啓発活動による管理状況未確認施設の50%削減		全体計画	—	100%	・通知:R3年度で100%(1巡)達成		
		全体実績	56%	100%	・一巡した通知について検討		

あますいビジョン実施計画(前期)進捗管理一覧表 R3年度決算

凡例 ○:「ビジョン目標を達成」 ●:「計画に沿って進捗している」 ●:「課題、調整事項はあるが、概ね計画に沿って進捗している」 △:「課題、調整事項があり、予定より遅れている」

取組み名称 及び ビジョン目標		進捗状況	R3年度取組み状況											
直近の取組み内容、具体目標や目標値など														
⑨鉛製給水管の解消			主管課：水道維持担当		関係課：お客さまサービス課									
概要:鉛製の給水管は、漏水が多いことや健康への影響も懸念されることから、解消に向けた取組が必要である。公道部においては取替工事を上下水道部で実施するなど解消に取り組み、水質の向上や漏水の改善を目指す。また、使用者へ鉛製の給水管の使用状況及び使用する際の注意事項などの個別通知による情報提供を行う。使用者への個別通知については、R6年度までに通知対応を行う計画であり、進捗状況によっては計画の前倒しも検討していく。														
公道部の鉛製給水管の解消			年度	R2(2020) 561件/年		R3(2021) 570件/年		R4(2022) 601件/年		R5(2023) 601件/年		R6(2024) 601件/年		
・R10(2028)年度までに解消(取替工事で5,018件予定)			●	前期計画	561 / 2,805	20%	1,122 / 2,805	40%	1,683 / 2,805	60%	2,244 / 2,805	80%	2,805 / 2,805	100%
				前期実績	360 / 2,805	13%	930 / 2,805	33%						
				全体計画	561 / 5,018	11%	1,122 / 5,018	22%	1,683 / 5,018	34%	2,244 / 5,018	45%	2,805 / 5,018	56%
				全体実績	360 / 5,018	7%	930 / 5,018	19%						
				・R3計画進捗率40%に対し見込み進捗率は33%である。R4から年間施工量を10%増やす。(561件→601件)										
使用者へ個別通知による情報提供			年度	R2(2020) 6,000件/年		R3(2021) 9,600件/年		R4(2022) 14,400件/年		R5(2023) 14,400件/年		R6(2024) 15,200件/年		
・R6(2024)年度までに鉛製給水管使用の家庭へダイレクトメールを送付する(約60,000件)			○	全体計画	6,000 / 59,600	10%	15,600 / 59,600	26%	30,000 / 59,600	50%	44,400 / 59,600	74%	59,600 / 59,600	100%
				全体実績	7,480 / 59,600	13%	19,555 / 59,600	33%						
⑩施設や管路の防災対策			主管課：水道建設課		関係課：水道計画担当									
概要:浄水場の施設については今後も必要となる配水に係る施設の耐震化を進め、配水管については配水管網の幹となる基幹管路を優先し、耐震化を引き続き進めていく。また、医療機関や避難所等の重要給水施設に至る配水管(重要給水管路)については、優先的に耐震化する。これらの取り組みによって、施設や管路の耐震化を今後も引き続き適切に進め、地震などの災害による被害を最小限に抑えることが出来る水道施設の構築を目指す。														
基幹管路の耐震化率(水道)			年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	
・R11(2029)年度までに55%			●	全体計画	50.9%	51.9%	52.7%	52.7%	53.6%	54.0%	54.3%	54.5%	54.9%	55.2%
				全体実績	50.0%	51.1%								
				・R3計画進捗率51.9%に対し見込み進捗率は51.1%である。遅れている部分もあるが、ビジョンの最終年度であるR11までには完了させる予定。										
基幹管路の耐震化率(工業用水道)			年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	
・R11(2029)年度までに69%			○	全体計画	64.0%	64.4%	64.5%	64.7%	65.2%	65.6%	66.2%	67.3%	68.4%	69.5%
				全体実績	64.3%	64.5%								
重要給水管路の耐震化率(水道)			年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	
・R11(2029)年度までに90% (但し被災確率の低い非耐震管路を耐震管とみなすと100%)			●	全体計画	65.4%	69.2%	70.1%	71.4%	74.1%	77.6%	80.9%	84.1%	87.4%	90.6%
				全体実績	64.5%	66.1%								
				・R3計画進捗率69.2%に対し見込み進捗率は66.1%である。一部路線の前倒しにより、進捗の改善を図る。										
⑪ 応急給水拠点の充実			主管課：お客さまサービス課		関係課：水道建設課									
概要:既存の応急給水拠点に加えて、今後は避難所となる小中学校や地域振興センター等に近接する配水管と直結した応急給水栓を69か所整備し、応急給水拠点を充実させていく。停電や水質事故等により浄水場機能が停止した場合でも「市民の運搬距離1km」の確保を目指す。														
応急給水栓(本管)をR3(2021)年度までに市内24箇所設置			・R3年度はR2年度の繰越5か所を含む12か所を整備。											
・参考:R1年度→5か所整備予定のうち3か所整備(繰越2か所)			●	年度	R2(2020) 11か所[8]		R3(2021) 8か所[12]		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)	
				全体計画	16 / 24	67%	24 / 24	100%						
				全体実績	11 / 24	46%	23 / 24	96%						
応急給水栓(支管)をR8(2026)年度までに市内45箇所設置			・R3年度はR2年度の繰越6か所を含む15か所を整備。											
・ビジョン前期(R2~R6)年度で36箇所設置			●	年度	R2(2020) 11か所[4]		R3(2021) 9か所[15]		R4(2022) 6か所		R5(2023) 5か所		R6(2024) 5か所	
				前期計画	11 / 36	31%	20 / 36	56%	26 / 36	72%	31 / 36	86%	36 / 36	100%
				前期実績	4 / 36	11%	19 / 36	53%						
				全体計画	11 / 45	24%	20 / 45	44%	26 / 45	58%	31 / 45	69%	36 / 45	80%
				全体実績	4 / 45	9%	19 / 45	42%						

あますいビジョン実施計画(前期)進捗管理一覧表 R3年度決算

凡例 ○:「ビジョン目標を達成」 ●:「計画に沿って進捗している」 ●:「課題、調整事項はあるが、概ね計画に沿って進捗している」 △:「課題、調整事項があり、予定より遅れている」

取組み名称 及び ビジョン目標	進捗状況	R3年度取組み状況
直近の取組み内容、具体目標や目標値など		
⑫ 業務継続計画の運用	主管課：水道計画担当 関係課：水道建設課、浄水センター、水道維持担当、お客さまサービス課、料金担当、経営企画課	
内部研修及び訓練の実施	○	・11月に防災総合訓練と合わせて実施し、参加した職員へのアンケートにより課題を抽出。
・全体訓練(10月)を実施		
他事業体及び民間企業との訓練、協定の充実	○	・工水ユーザーに公営企業局のBCPの説明及び災害時必要水量のアンケート実施。
・工水ユーザー側の災害マニュアルの聞き取り及びBCP手順の説明		
業務継続計画の改善、強化	○	・全体計画及び個別行動計画を見直し(応急給水拠点整備箇所の追加及び応急給水拠点整備に伴う資機材等備蓄の追加等)、年度末に改定した。
・計画内容の継続的な見直し、改訂		・汚染物質毎の健康影響等について浄水センターと連携して検討を行った。
・水質異常時の飲用摂取制限時の対応手順を策定		・R4年度も引き続き、汚染物質の評価や市民への事前周知手法などを検討する。
⑬ 市民や地域との連携の充実	主管課：お客さまサービス課 関係課：経営企画課	
概要: 広域的な大規模災害の際には、公助だけでは対応に限界があるため、今後は自助として水の備蓄の促進に加え、共助では地域で応急給水を実施していただけるよう、訓練などを通じて共助の取組を促進し、地域防災力の向上を図る。		
水道水の備蓄の促進(自助)	●	・全戸配布のウォーターニュースやホームページ、転入者へは冊子「家庭の水道・下水道」を使って水道水の備蓄啓発。
・水道水の備蓄をPR		・イベントはコロナ感染症防止のため実施なし。
応急給水拠点での訓練実施(共助)	●	・整備済み拠点4か所で訓練を実施。
・整備翌年度までに訓練を実施(目標15回/年)		
・各拠点で4年に1回訓練を実施		
⑭ 経営の効率化	主管課：経営企画課 関係課：料金担当、お客さまサービス課	
概要: 費用の約半分を占める阪神水道企業団への受水費については、猪名川浄水場の施設規模の見直しの機会を通じて負担軽減に取り組んでいく。 また、業務の効率化のために、料金徴収等を行う業務システムのリニューアルを実施するとともに、業務効率化に向けたICT・IoTを使った活用についても検討を行っていく。		
受水費の負担軽減	●	・必要水量の再調査(期間R4年度～R13年度)が行われ、施設規模を見直すことについて、協議・調整を行った。
・分賦金制度の見直しに伴う受水費負担の協議		・猪名川浄水場のダウンサイジング(施設規模の縮小)に伴う費用負担見直しにおける論点整理を行った。
業務システムのリニューアル	○	・事業者決定(NEC)、契約締結。
・RFPの実施、次期業務システム開発業者の選定		
ICT・IoTの情報収集、活用	○	・引き続き、他事業体や先進事例などから情報を収集する。
・スマートメーターの情報収集、調査研究		
・その他ICT・IoTの活用検討		
⑮ 広域連携・官民連携	主管課：経営企画課 関係課：水道計画担当	
広域連携に係る研究の継続	○	・阪神水道企業団及び構成市間での水質データの共有化(取組番号⑦)と連動。
・阪水最適化研究会における検討の継続		
官民連携の事例研究、情報収集	○	・引き続き、国や県、他事業体から近況の情報収集。
・AIを使用した管路劣化診断、水道標準プラットフォーム、水道情報活用システム導入支援事業などについて情報収集し、関係課で情報共有		・水道管理システムやデジタル技術のプレゼンやデモなどに参加した。
⑯ 広報・広聴	主管課：経営企画課 関係課：水道計画担当	
イベントなどの広報活動の充実、工水ユーザー会議	○	・市民まつり実施なし。
・イベントなどで情報発信		・出前講座2件実施。
・アンケートで関心の高かった災害時の水の確保や、水質の安全性に関する記事を掲載		・広報紙(ウォーターニュース)を年4回全戸配布、ホームページにて随時情報発信。
・工水ユーザー会議の実施		・出前講座、応急給水訓練でチョロQやボトル水を配布。
		・工水ユーザー会議を8/4に開催、R4年度も同時期に開催予定。
⑰ 人材育成	主管課：企画課管理課 関係課：経営企画課	
水道、工業用水道事業に精通した人材の育成	○	・局研修を9件、派遣研修を70件実施した。
・組織体制の効率化、効果的な研修・人事交流の実施		
民間事業者の人材育成、技術確保	○	・工事施工業者を対象に安全講習会の実施。R3年度から下水道の業者も参加(水道・下水道合わせて15社参加)
・効果的な取組みの策定、実施		・神崎浄水場において、運転監視業者と薬品漏洩緊急事態に対する訓練を実施。